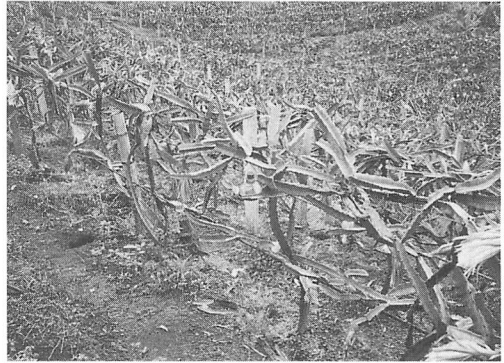


海外検疫の現場から(5)

リレー随筆

コロンビア産イエローピタヤ

(横浜植物防疫所業務部 みるさわけんじ 古澤幹士)Colombian Yellow Pitaya. By Kenji FURUSAWA
(キーワード：海外検疫，コロンビア，イエローピタヤ)

イエローピタヤの栽培風景

はじめに

今回のリレー随筆「海外検疫の現場から」は、2004（平成16）年2月中旬から4月中旬まで従事したコロンビア共和国ボゴタ市における、日本向けイエローピタヤ生果実の検疫の概要などについて述べたい。

I コロンビア産イエローピタヤの海外検疫業務

1 イエローピタヤについて

コロンビアには我が国が侵入を警戒しているチチュウカイミバエが発生しており、その寄主となるイエローピタヤ生果実は我が国への輸入が禁止されているが、1999（平成11）年に条件付きで輸入が解禁された。

イエローピタヤは柱サボテンの一種（学名：*Selenicereus magalanthus*）で、圃場に支柱を立て柵を作ったり、支柱と支柱の間に針金を渡したところに這わせて栽培されている。大きな白色の花が咲き、果実は熟すると黄色になる。長さが10～12 cm、重さが250～350 g程度のものが多いが、500 g近いものもある。果肉は半透明のゼリー状でさっぱりした甘さがあり、ゴマ粒の2倍くらいの黒色の種子が多く混じる。コロンビアでは果実は年2回収穫でき、日本から当該果実の海外検疫業務のため2～4月頃および7～10月頃に植物防疫官が派遣されている。

今回の日本向けのイエローピタヤは、大半がVALLE DEL CAUCA県（県都：カリ市）で栽培されたものである。

なお、解禁後の日本の輸入数量は表のとおりである。

表 イエローピタヤ生果実の輸入数量

年	防疫官派遣期間	輸入数量 (kg)
2000 (平成12) 年	2.9～4.22	14,255
2000 (平成12) 年	8.24～10.31	15,211
2001 (平成13) 年	1.19～4.10	15,441
2001 (平成13) 年	7.31～10.22	8,891
2002 (平成14) 年	1.30～3.29	6,338
2003 (平成15) 年	2.11～4.14	9,939
2003 (平成15) 年	7.15～9.14	8,206
2004 (平成16) 年	2.17～4.19	9,710



イエローピタヤ生果実

2 輸入解禁条件

イエローピタヤ生果実の輸入に関し、我が国がコロンビア側に要求している主な植物検疫条件は次のとおりである。

(1) 濃密防除地域

コロンビア共和国植物検疫機関が、濃密な病害虫防除が行われる地域として指定した地域で生産されたものであること。

(2) 消毒

チチュウカイミバエを殺虫するため蒸熱処理施設において、飽和水蒸気を使用し、果実中心温度を46℃とし、その温度以上で20分間消毒すること。

(3) 植物検疫証明書

上記(2)の消毒が行われたことおよび、チチュウカイミバエに侵されていないものであることを追記した植物検疫証明書が添付されていること。

(4) 梱包・表示

チチュウカイミバエが侵入するおそれがない容器に梱包し、日本向けの表示および封印を行うこと。

現地では蒸熱処理施設や梱包施設がこれらの条件を満たすものかどうか、また、これらの規定が遵守されているかどうかをコロンビア農牧庁(ICA)の検査官とともに確認した。

3 業務の概要**(1) 消毒施設および梱包場所の調査**

今回蒸熱処理を実施した施設は、ボゴタ市内エルドラド国際空港近くの面積約250 m²の施設1か所であった。倉庫内に組み立てられた支柱に防虫ネットを二重に張り、蒸熱処理室、空冷室、検査・梱包室、果実保管場所等があり、各部屋が扉で遮断されており、万一ミバエが網室内に侵入しても、直接蒸熱処理室、検査・梱包室等に到達できない構造になっていた。

蒸熱処理庫はピタヤ生果実が16～18 kg 入る専用の果実箱を前後2列6段計12個収容でき、1回の最大処理能力は200 kg 程度であった。庫内温湿度測定のため乾球用および湿球用センサーが各1本、果実温度測定用センサーが6本設置されていた。

輸出用果実の蒸熱処理に先立ち、処理庫内の温度分布や温度上昇の状況を調査し、果実温度が上がりにくい場所を特定し、果実温度測定用センサーの挿入場所を決定した。

(2) 蒸熱処理

ICA 検査官と日本側防疫官は、蒸熱処理開始の際の果実温度センサーの挿入および庫内への果実の収容に立ち会い、蒸熱処理を終了する際は双方で温度記録を点検し、二国間で定められた処理条件を満たしていることを確認した。

(3) 輸出検査

ICA 検査官により処理済みの生果実全量について輸出検査が実施され、当該検査が適切に実施されていることを確認した。

検査の結果、チチュウカイミバエおよびその他の検疫有害動植物が付着していた事例はなかった。

(4) 梱包

果実は大きさにより5個、6個、12個および15個詰の4種類の内箱に詰められ、さらに外箱に詰められた。外箱上面はテープ、底は糊付けで密封され、上面・底ともICAの植物検疫終了のテープで封印された。

なお、コロンビアから海外に持ち出す物品はすべて麻薬検査が行われることになっており、梱包には警察官が立ち会い、入念に検査をしていた。

(5) 輸出検査証明書への署名・捺印

ICAにより作成された検疫証明書の内容を確認し、ICA 検査官の署名されたことを確認後、検疫証明書の裏面に署名・捺印した。

II 日常生活など

コロンビアの治安は外務省の海外安全ホームページによれば爆弾テロ事件や誘拐事件が多発し、強盗などの一般犯罪の発生率も高い水準で推移している。

日本の派遣防疫官が滞り、業務を行うボゴタ市も「渡航の是非を検討」すべき地域とされており、渡航する場合には治安に対する最新の情報を確認したうえで、必要に応じて警備員をつけるなどの万全な安全対策をとるよう勧めている。

着任早々に日本大使館に赴き、国内やボゴタ市の治安状況、安全対策等について詳細かつ具体的な説明を受け、常に危機意識をもち、リスクをできるだけ少なくするよう行動に注意する必要があることを認識した。

ホテルは比較的治安がよい地域に確保した。ホテルから消毒施設までは約15 km、車で30分程度だが、安全を確保するためか車種や経路が時々変わることがあった。

毎日通った道路は朝夕はかなり混雑した。信号や横断歩道のないところを小走りで横断する人が何人もいたが、コロンビアでは普通のことのようにだ。その混雑する車の横を、荷馬車がゆっくりと通り過ぎていくこともあった。

車でビルの駐車場などに入るときは、警備員がボンネットやトランクを開けたり車の下を調べたりした。犬が嗅ぎ回ることもあった。通りには銃をもった兵士が立っていることもあり、テロ事件などが現実にかかる可能性があることを実感した。このため、昼間にホテルの近くのスーパーマーケットやレストラン等に出かける以外は単独での外出を控えた。

日本大使館からいつでも連絡がとれるようコロンビ

ア側から携帯電話が貸与され、何回か、電話連絡により治安に関する情報を受けた。

III その他

今回、一緒に仕事をした何人かのICAの検査官も私も決して英語が堪能とはいえなかったが、辞書を指さしたり、図を描いたりして意志の疎通に努めた結果、業務に関してお互い通じ合うことができた。

なお、ホテル以外では英語は通じず、日常会話のためスペイン語の単語をいくつか覚える必要があった。

ボゴタ市は海拔2,600 mの高地にあり、高山病になる人もいるというので、予防のため、到着後1週間程度は食事の量を少なくし、睡眠を多くとるよう心がけた。

おわりに

コロンビアの関係者は、仕事に関しては生真面目でこちらからの指摘などにきちんと対応してくれ、業務に関しては大きなトラブルはなかった。また、気さくな人が多く、蒸熱処理施設では、Buenos días（おはよう）から Hasta mañana（またあした）まで、あまりストレスを感じずに過ごすことができた。

この約2か月間は少し窮屈ではあったが、事件に巻き込まれることもなく業務を終え無事に帰国することができた。在コロンビア日本大使館をはじめ、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

また、今回の出張に際し、種々ご指導いただいた農林水産省消費・安全局植物防疫課、横浜植物防疫所調査研究部企画調整担当にも御礼申し上げます。

登録が失効した農薬 (16.7.1～7.31)

掲載は、種類名、登録番号：商品名（製造業者又は輸入業者）登録失効年月日。

「殺虫剤」

- コレマンアブラバチ剤
19994：トモノアブラバチ AC（シンジェンタ ジャパン）
2004/07/07
- クロルピクリンくん蒸剤
19995：クロルピクリンテープ（日本化薬）2004/07/07
- MEP 乳剤
19997：スミチオン 100（シンジェンタ ジャパン）
2004/07/07
- マラソン乳剤
19998：マラソン 100（シンジェンタ ジャパン）2004/07/07
- シクロプロトリン・NAC 粒剤
17354：ホクコーシクロサルナック U 粒剤（北興化学工業）
2004/07/13
- ピリダフェンチオン粉剤
19041：三共オフナック粉剤（北海三共）2004/07/13
- テトラデセニルアセテート剤
15559：ハマキコン（信越化学工業）2004/07/21
- ダイアジノン粒剤
11775：トモノダイアジノン粒剤 5（日本農薬）2004/07/23
- PAP 水和剤
9204：三共パプチオン水和剤 40（北海三共）2004/7/25
- アクリナトリン水和剤
18956：武田アーデント水和剤（住化武田農薬）2004/7/29

「殺菌剤」

- キャプタン・チウラム・有機銅水和剤
15529：キャッチドール水和剤（シンジェンタ ジャパン）
2004/07/21
- バリダマイシン・EDDP 粉剤
15532：武田ヒノバリダシン粉剤 25DL（住化武田農薬）
2004/07/21
- トリアジメホン・プロピネブ水和剤
15543：バイレトン AN 水和剤（バイエルクロップサイエンス）
2004/07/21

「殺虫殺菌剤」

- MPP・フサライド・EDDP 粉剤
16426：三共ヒノラブバイジット粉剤 35DL（三共アグロ）
2004/07/10
- エトフェンブロックス・バリダマイシン・フサライド粉剤
17356：ホクコーラブバリダトレボン粉剤 DL（北興化学工業）
2004/07/13
- MEP・トリシクラゾール・メプロニル・IBP 粉剤
15535：ビームジンバシタックスミ粉剤 DL（クミアイ化学工業）
2004/07/21
- チオファネートメチル・トルクロホスメチル水和剤
17367：住化リゾガード水和剤（住友化学工業）2004/7/28
- 17368：日曹リゾガード水和剤（日本曹達）2004/7/28
- エトフェンブロックス・メプロニル粉剤
17369：バシタクトレボン粉剤 DL（クミアイ化学工業）
2004/7/28
- プロパホス・イソプロチオラン粒剤
14333：フジワンカヤフォス粒剤（日本農薬）2004/7/31

「除草剤」

- ブタミホス・プロモブチド粒剤
19042：日産スミクレート粒剤（日産化学工業）
2004/07/13
- イマザキンアンモニウム塩・ベンディメタリン乳剤
18178：オフ CE（BASF アグロ）2004/7/30

「植物成長調整剤」

- ピペロニルブトキシド乳剤
14655：ブトックス乳剤（高砂香料工業）2004/7/1

「その他」

- 展着剤
11786：展着剤アイヤー 20（アグロ カネショウ）2004/07/23